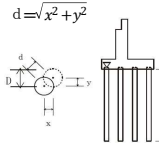
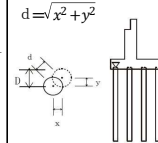
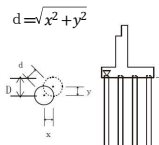
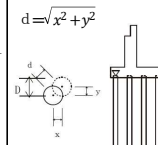
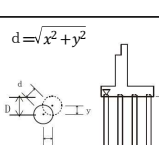
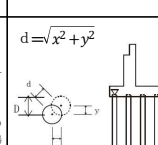
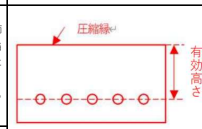


3	2	3	14	プレキャストセグメント主桁組立工	桁長 ℓ 支間長	$\ell < 15: \pm 10$ $\ell \geq 15: \pm (\ell - 5)$ かつ-30mm以内	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3ヶ所とする ℓ :支間長 (m)	3-2-3-14	3	2	3	14	プレキャストセグメント主桁組立工	桁長 ℓ 支間長	$\ell < 15: \pm 10$ $\ell \geq 15: \pm (\ell - 5)$ かつ-30mm以内	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3ヶ所とする ℓ :支間長 (m)	3-2-3-14			
3	2	4	4	1	既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	基準高 ∇ 根入長 偏心量 d 傾斜	± 50 設計値以上 $D/4$ 以内かつ100以内 $1/100$ 以内	全数について杭中心で測定。 	3-2-4-4	3	2	4	4	1	既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	基準高 ∇ 根入長 偏心量 d 傾斜	± 50 設計値以上 $D/4$ 以内かつ100以内 $1/100$ 以内	全数について杭中心で測定。 傾斜は、縦断方向 (道路線形方向、橋軸方向等) とそれに直交する横断方向の2方向で測定。 	3-2-4-4	表記統一のため修正
3	2	4	5	場所打杭工	基準高 ∇ 根入長 偏心量 d 傾斜 杭径 D	± 50 設計値以上 100以内 $1/100$ 以内 設計径 (公称径) -30以上	全数について杭中心で測定。 	3-2-4-5	3	2	4	5	場所打杭工	基準高 ∇ 根入長 偏心量 d 傾斜 杭径 D	± 50 設計値以上 100以内 $1/100$ 以内 設計径 (公称径) -30以上	全数について杭中心で測定。 傾斜は、縦断方向 (道路線形方向、橋軸方向等) とそれに直交する横断方向の2方向で測定。 	3-2-4-5	表記統一のため修正		
3	2	4	6	深礎工	基準高 ∇ 根入長 偏心量 d 傾斜 基礎径 D	± 50 設計値以上 150以内 $1/50$ 以内 設計径 (公称径) 以上※	全数について杭中心で測定。 ※ライナープレートの場合はその内径、補強リングを必要とする場合は補強リングの内径とし、モルタルライニングの場合はモルタル等の土留め構造の内径にて測定。 	3-2-4-6	3	2	4	6	深礎工	基準高 ∇ 根入長 偏心量 d 傾斜 基礎径 D	± 50 設計値以上 150以内 $1/50$ 以内 設計径 (公称径) 以上※	全数について杭中心で測定。 傾斜は、縦断方向 (道路線形方向、橋軸方向等) とそれに直交する横断方向の2方向で測定。 ※ライナープレートの場合はその内径、補強リングを必要とする場合は補強リングの内径とし、モルタルライニングの場合はモルタル等の土留め構造の内径にて測定。 	3-2-4-6	表記統一のため修正		
3	2	18	2	床版工	基準高 ∇ 幅 w 厚さ t 鉄筋のかぶり 鉄筋の有効高さ 鉄筋間隔 上記、鉄筋の有効高さがマイナスの場合	± 20 $0 \sim +30$ $-10 \sim +20$ 設計値以上 ± 10 ± 20 ± 10	基準高は、1径間当たり2ヶ所 (支点付近) で、1ヶ所当たり両端と中央部の3点、幅は1径間当たり3ヶ所、厚さは型枠設置時におおむね10m2に1ヶ所測定。 (床版の厚さは、型枠検査をもって代える。) 1径間当たり3断面 (両端及び中央) 測定。1断面の測定箇所は断面変化毎1ヶ所とする。 1ヶ所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全数、橋軸直角方向の鉄筋は加工形状毎に2mの範囲を測定。	3-2-18-2	3	2	18	2	床版工	基準高 ∇ 幅 w 厚さ t 鉄筋のかぶり 鉄筋の有効高さ 鉄筋間隔 上記、鉄筋の有効高さがマイナスの場合	± 20 $0 \sim +30$ $-10 \sim +20$ 設計値以上 ± 10 ± 20 ± 10	基準高は、1径間当たり2ヶ所 (支点付近) で、1ヶ所当たり両端と中央部の3点、幅は1径間当たり3ヶ所、厚さは型枠設置時におおむね10m2に1ヶ所測定。 (床版の厚さは、型枠検査をもって代える。) 1径間当たり3断面 (両端及び中央) 測定。1断面の測定箇所は断面変化毎1ヶ所とする。 1ヶ所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全数、橋軸直角方向の鉄筋は加工形状毎に2mの範囲を測定。 	3-2-18-2			